

ゆちき通信

250号

3月20日現在
 子ども会員：114人
 正会員：40人
 賛助会員：233人
 28団体



へんてこ劇場



トップページ.....01	へろへろベビーじゃらの旅.....05
しりたがり.....02	特集～へんてこ劇場～.....06～07
おとな塾.....03	特集～祝!卒業～.....08～11
イギリス留学.....04	和菓子にチャレンジ!!.....12

「萬齋・裕基が誘う狂言の世界」会場にてお寄せいただいた令和6年能登半島地震への義援金 24,406 円を日本赤十字社に届けたことをご報告いたします。

やまもと かずこの 知りたがりやトーク

春。今年も大好きなこの季節が巡ってきました。本当に1年があつという間。そろそろ桜の便りが届きそうな勢いです。YYYの受験生たちも、みんな希望の学校に進んでいきます。おとな塾の記事を担当している芥川さんは4月から東城高校の国語の先生です。それぞれの新しいステージで素敵な出会いをして欲しい！YYYスタッフ一同、切に願っております。

そんな中、映画「52 ヘルツのクジラたち」を観てきました。原作は、2021年の本屋大賞を受賞した町田そのこの同名小説。タイトルの「52 ヘルツのクジラ」とは、52 ヘルツという「高い周波数」で鳴くため、すぐそばに仲間がいたとしても、その存在に気がついてもらえない、「世界でもっとも孤独なクジラ」のことを意味しているのだとか。通常クジラは15～25 ヘルツで鳴くそうで、この52 ヘルツで鳴くクジラは、奇形かシロナガスクジラの雑種だと考えられているとのこと。

出版された時、すぐに購入して読んだこの本。児童虐待に家庭内DV、ヤングケアラーにトランスジェンダー…など現代の社会的問題がてんこ盛りで、読むのが辛くなる場面もしばしば。それでも最後がどういう結末になるのか、気になって、気になって、一気に読んだ作品です。それが、映画化されたのですから、もちろん観に行きました。しかも、キャストの一人は推しの志尊淳。

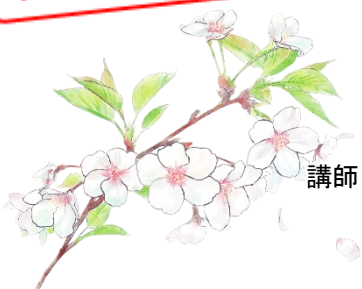
で、どうだったかと言えば、私的にはちょっと残念。原作がめっちゃよかったので、期待が大きかったこともあります。これだけの内容を2時間余り



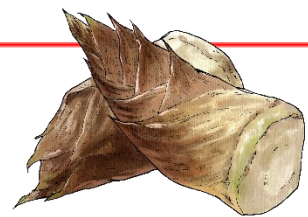
の作品に詰め込むことには無理があったように思います。物語が端折られ過ぎていて、ところどころ、えっ?って思う場面も。

とは言え、この「52 ヘルツのクジラたち」、多くの人に観てもらいたい！この作品はただのフィクションではなく、描かれているのは、今の社会の現実です。レビューの中には「住む世界が違いすぎて…」と書かれていた方もおられましたが、実はそうではないと思います。気づいていないだけで、私の身近なところにも、その方のご近所にも懸命に声をあげている「52 ヘルツのクジラ」は、おそらく存在しているのです。生きにくい世の中で、気づいてくれる誰かを待って、ずっと鳴き続けているかもしれません。その声に気づく人が増えたら、助かる命がたくさんあるように思います。どれだけ役に立てるかはわかりませんが、52 ヘルツの声を少しでも聞きとれるようなおとなを目指したい！と思いを新たにしている今日この頃。

Nextおとな塾



絵てがみ教室入門



講師：中本暁子さん(絵手紙教室講師)

【日 時】4月17日(水)19:30～

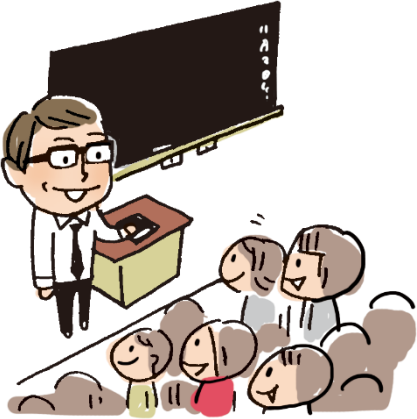
【場 所】生涯学習センター507

【参加費】1200円(資料・お茶菓子)

※事前にお申込みください。

国語の教科書の裏側をのぞく!

～表現の観点から分析し直す～



いつもはあかり先輩が担当している大人塾の記事。今回は、あかり先輩が講師ということなので、私、なつが記事を担当します。

会に先駆けて、伊藤芽生ちゃんが高校入試の2日目にあった自己表現プレゼンを再現してくれました。聞きやすい声のトーン、話すスピード、一目で伝えたい事が分かるスライド…。中学校で頑張ってきたこと、高校でやりたいことがありありと伝わってきました。

続いて先輩の卒業研究の発表。“国語の教科書を

表現の観点から見る”というテーマでした。学生時代、国語の教科書といえば授業中に怒られないように読書をするための隠れ蓑のような存在と考えていた私。企画している時点では、なんのこっちゃ？な状態でした。ですが、そこは春から国語の先生になる先輩、流石です。作品ごとに、教材として適している点、難しい点などを丁寧に説明。こんな私でも、教科書には様々な観点から厳選された優秀な作品たちが載っているということがよくわかりました。

中でも一番印象に残ったのは清岡卓行の評論「ミロのヴィーナス」についてです。高校生のときに触れた文章ですが、当時はなんだか異質な作品だなと感じていました。それが、今回のおとな塾で、その異質と感じた源が明確になったのです。それは、私の評論に対するイメージと、そもそも詩人である筆者が、かなり抒情的に感情表現されていることのギャップでした。スッキリ～

春から新しい環境へ進むあかり先輩、無理をしすぎない程度に頑張って楽しんでください。身体を休ませることを忘れないように！
(なつ)



毎日ガタイーパーティー? 美月の英国留学



学校生活 (学んだこと: 協調性)

私が参加したのは、イギリスのカンタベリーというところにある、カンタベリー・クライストチャーチ大学のジェネラル・イングリッシュ・コース(通称GE)。これは、基本的な英語力を鍛えるためのコースで、2023年度は私を含めて12人の日本人が参加しました。「全員日本人なら、みんなで仲良くなれるかな?」という淡い期待を抱いていた私でしたが、留学に来るだけあって、よく言えば個性的、悪く言えば自我の塊みたいな癖のつよ〜い人たちばかり。最初はぎこちない雰囲気でしたが、時間が経てば慣

こんにちは!ハーバーサロンの美月です。248号の記事にも書いた通り、「充実」のイギリス留学についてお話します。学校生活、ホームステイ、その他の活動を通じて学んだことを、思ったことや感じたことと一緒にお届けします!

れてくるもの。また、「話す」ことに積極的な授業スタイルのおかげで、お互いの性格がわかるようになり、だんだんつり合いが取れるようになっていきました。それでもやはり離れたりくっついたりする私たちは、最後までいびつなままのクラスでしたが、私にとっては「協調性」というものを学ぶ絶好の機会となりました。

ホームステイ (学んだこと: 「ありがとう」「ごめんなさい」の大切さ)

私のホストファミリーは、お母さんとお父さんと息子の親子3人+猫2匹の5人(?)暮らしで、初めてお会いした時の感想は、「思ったよりおじいちゃんおばあちゃんだ」「ホストファザー、でかっ!」「本当に挨拶でほっぺにキスするんだ!」でした(笑)一緒に過ごすうちに、マザーは家事スキルLv.100で、特にお料理の腕はピカイチだということ、ファザーはぶっきらぼうに見えて、私とのおしゃべりとスト



リクトリー・カム・ダンシング(大人気TV番組。著名なアマチュアダンサーとプロのダンサーがペアになってダンスを披露し、複数のペアの中から優勝カップルを決める)を楽しみにしている陽気なおじいちゃんだということ、おじいさん(息子)は歌を歌うことと家族が大好きだということが分かるようになりました。

3か月間このあったかいファミリーと過ごす中で、「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言うことの大切さを学びました。初めてお会いした時から、何よりも私の「ホーム」であってくださることに感謝し、「お客さん」ではなく「居候」として食事の後や洗濯をしてもらった時、ごはんを全部食べられなかった時、帰りが夜遅くなってしまう時には、必ず声をかけるようずっと意識していました。

イギリスから帰ってから、久しぶりに家族と再会し、部活動やアルバイトに復帰すると、言葉が不自由な海外でできていたことが、日本の身近すぎる人たちにはできていないことがあったなあと感じました。

これからは、どこにいてもこの気持ちを大切にしていって、人間関係を築いていきたいと思っています。

(来月につづく)

今月のおとな塾は…



絵てがみ教室入門



春。梅・桃・桜…次々と花が咲き、ウキウキする気持ちのいい季節です。一方で、出会いと別れの季節でもあります。

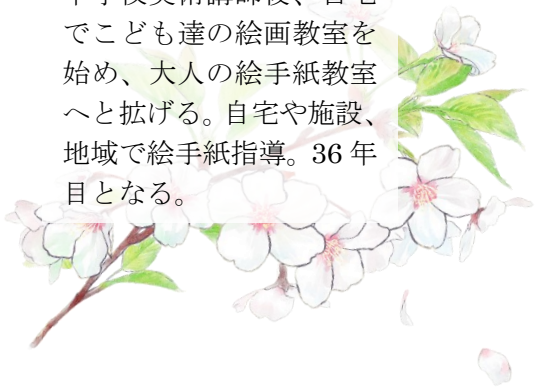
「光る君へ」じゃないけど、気の利いた和歌でも詠めればカッコいいのに…

と思っている人も、別にそんなこと思っていない人も、「絵手紙」に挑戦してみませんか？

呉市内で活躍中の中本暁子さんを講師にお迎えして、絵手紙の基本的な書き方を教えていただきます。

講師：中本暁子

中学校美術講師後、自宅でこども達の絵画教室を始め、大人の絵手紙教室へと広げる。自宅や施設、地域で絵手紙指導。36年目となる。



【日 時】4月17日(水)19:30~

【場 所】生涯学習センター507

【参加費】1200円(資料・お茶菓子)

※事前にお申込みください。

へろ へろ

ベビーじゃらんの旅



3月上旬、8か月の娘いっちゃんを連れて初めての家族旅行に行ってきました。ちょうどコロナ禍に突入したころに結婚した私たちの新婚旅行も兼ねて。行先は大分県。一番の目的はグッズを目にするついでに買ってしまふほど好きなサンリオのテーマパーク、ハーモニーランドです。

1週間前に天気予報をチェックしたら、出発日から雨！晴れるのは2泊3日のうち最終日だけ。そういえば、いっちゃんが産まれた日も退院する日も雨だったんです。初めて2人でお出かけした日も。そして初めての旅行も？これは逃れられない運命かも…。結局、出発の朝は土砂降りでした。

高速のSAとPAでこまめに休憩を取りつつ車で向かうことに。そして悪夢は始まったのです。

前日の夜から下痢気味だったいっちゃん。この日もうんちをする度に下痢で、とにかく大変でした。慣れないトイレの簡易ベビーベッドでオムツ交換するだけで一苦労なのに、その都度下着から全着替え。9時間かけてホテルに到着する頃には疲れはてて外で食べる元気もなく、夕飯はテイクアウト。美味しいとり天弁当をいただきました！

2日目の朝食は2種類から選べるとのこと、私は海鮮丼、夫のゆうさんはバイキング。海鮮丼は数量限定だったので、夫にいっちゃんを任せ、開始の6時40分前から並び、無事豪勢な朝食をGET！そ



の後交代でゆうさんがバイキングへ。しばらくして戻ってきたら、なんだか具合が悪そう。食べすぎたようで気分が悪くなったとのこと。ですがなんといってもその日はメインイベントのテーマパーク。心配しつつも出発しました。

車で30分ほど。曇天だけど、雨降ってないだけまし、と思うことに。まずはキティちゃんと写真が撮れるスポットに行くことにしました。順番待ちの列に並び、可愛くドレスアップしたキティちゃんと一緒にパシャリ。台紙付きで1300円。いいお値段！普段だと絶対買わないけど、いっちゃんの記念にと買うことにしました。



続いて、まだ11時前だったけど、いっちゃんのミルクの時間になるので早めの昼食へ。レストランに着いて早々ミルクをあげました。私たちは、キャラクターがモチーフのカレーを注文。見た目もすごく可愛くて、味もしっかりおいしい。量が少し多いかなと思いつつも完食。

その後ショーを少し見て、次は一番楽しみにしていた、ボートに乗ってゆったりいろんなキャラクターが見れる屋内アトラクションへ！乗船後すぐになんだか気分が悪い…。船酔いしたみたいで、もどさないように膝に乗せたいっちゃんのニオイをひたすら嗅いでいました。見たいのに目を開けていることさえできず、ずっと目を瞑って精神統一。結局半分も見ることができず終了。ゆうさんも不調だったので、お土産もそこそこにホテルに戻ることに。

夫婦そろってゲロゲロで、何をやる気力もなく昼過ぎから夕方まで死んだように寝ました。いっちゃんも疲れてたのか一緒に寝てくれて助かりました。後で気づいたんですが、ずっと下痢をしていたいっちゃんの菌が、どうやらうつったみたいでした。

最終日もチェックアウトギリギリまで横になってました。なんとか気力を振り絞り、ホテルでお土産を購入。無事帰ることだけを目指し、休憩を挟みつつ高速をひた走りました。総走行距離777km！数字だけラッキー。

1日休んだらみんな回復しましたが、今回の旅行は自分的に過去イチしんどかったです。その土地の雰囲気を感じる余裕さえありませんでした。ああ残念。次またどこかに行くときはみんな元気でありませうように！

(みお)



みんながワクワク人形劇の世界へ入れるように、当日朝からせっせと会場を飾りつけ。生憎の雨にも関わらず、11時のステージには開場前から列が！お出迎えするのは色とりどりのガーランド。「あれ私がぬったの！」と自分の作品を見つけて嬉しそう♪一部のLINEでお届けしていたへんてこ動画ニュースのTV枠は、なんと写真スポットに。賑わっていましたよ！！

いよいよ開演。「♪へろ～へろ～おじさん♪」と、へんてこ隊によるノリのいい音楽とへんてこなダンスで始まる。(子どもに付き添っていたお父さん、家に帰ってから何気なく歌っていたそう♪笑) 絵本でお馴染み『へろへろおじさん』。次々とアクシデントに巻き込まれる様は可哀そうだけど、舞台上ではコミカル。TVのハプニング特集のよう。子どもたちには大ウケ！みなさん、気づいてました？最後の場面でおじさんの食べていたアイスが、ペロペロするたびにちゃんと減っていたのを！「ほんとに食べよる！」と感動しちゃった。

『おなまえダンス』はダジャレ？おやじギャグ？的なノりで、大人から自然と笑い声が。小さな子はキョトン顔。まわりにつられて、人形の動きとリズムに合わせ、手を叩いていた。

『ねずみの歯医者はじめます』では、ねずみの為の歯医者だと宣伝しているのに、思いもよらぬキャラクターたちがとんでもない理由でやってきて、子ども達はおかしかった様子。怪獣の虫歯を引っ張る

クライマックスは「うんとこしょ」と大きなカブさながら。見ている方も力が入る。やっとこさ抜けた時には拍手喝采！

午後のステージの盛り上がりはすごかった。始まりの歌から手拍子が！それを受けて演技手もノリノリに！！大きい学年の子が多かったからか、笑い声も大きい。会場の雰囲気って、観客で変わるのだから改めてそう思った。

今回の公演、4月から高校生になる2人が挨拶を担当。自分たちで文章もつくり、リハーサルするはりきり様に元気をもらう。そして、コロナがあけて久々のカーテンコール。劇団の人に手作りして渡したい！とお家の人と一緒に作ってプレゼント！大人だけでなく若者、子ども達も運営に関わり、公演を盛り上げていけたことがとても嬉しかった。

(しるこ)



『へんてこげきじょう』とは、昨年の1月初め下見に行った京都で出会った。小さなお話の三本立て。中でも特に気に入ったのが『おなまえダンス』。「絶対おとなにうけるよね！」と帰りの新幹線で盛り上がった。それから1年、あんなに気持ちが高まったはずなのに、YYYでの公演にむけて作品の魅力をうまく言葉にできなかった泣次こそは！(鑑賞部長 F)

勝手に選んだ

ベストへんてこドレッサー



へんてこガーランドは、大人から子どもまでいろんな人が色を塗ったり髪の毛を描いたりしたもの。鑑賞部で気に入ったへんてこを選んでみました。一緒に楽しんでくれてありがとう！



会場の声

感動〜〜〜！！人形もすごいし、3人で10人分くらいの声と動きでした。(大人)

すごく楽しいへんてこげきじょうを観て、一番おもしろかったのは、ねずみのはいしゃです。(子ども)

ひよこがかわいかった。ハエ取り草がでてきたのがおもしろかった。(子ども)

おなまえダンスおもしろかったです。じぶんでも考えてみようと思います。人形の動きだけであんなに表現できてすごいなと思いました。(大人)

へろへろおじさんが少しかわいそうだった。(子ども)



子どもと一緒に、遊ぼう！学ぼう！ぱばママ広場

3/10(土)13:30~ 生涯学習センター501号室
参加人数：7組のおや子



みんなおいで——!!



人形劇「ねずみ歯医者はじめます」を目前に、歯科衛生士の大地沙織さんに来てもらいました。「子どもの歯磨き、どうしてる？」を中心に、ママ達の興味関心あるお話が聞けました。

歯のお話を聞いた後は「へろへろおじさん」の絵本を読み、おやつタイム。話題は日頃の悩みに。「英語を習わせたいけど、どうなんかね?」「ご飯をしっかりと食べてくれないのが心配」など、子どもの年齢によって様々あるよう。

同級生ベビーのスリーショットを撮る横で、大きい子たちは走り回って大はしゃぎ! あっという間の1時間。話し足りないおとな、遊び足りない子どもたち、その後近くの公園にくり出していました。

その夜、「早速やってます!」と子どもの写真を添えてLINEが届き、「鏡を見ながら歯磨き」の話が実践されていて「いいねえ」と思いました。(しるこ)



卒業おめでとう

ご卒業おめでとうございます！

コロナ前のように行われた久しぶりの卒業式だったのではないのでしょうか。わが子の式では先生方、来賓の方々がとってはりきって(?)おられたようで、お祝いの言葉も心なしか溢れんばかりの長さでした笑 どんな状況下においても、次のステップに進んでいく子どもや若者を、まわりの大人は応援しています！すべての卒業生に幸あれ！



私がこれから挑戦したいと思っていることはドイツ語の勉強です。

学びたいと思うようになったきっかけは、私たちの祖国日本やピザやパスタが有名なイタリアなどの国々を擬人化した「ヘタリア」という漫画です。その漫画で私は『ドイツ』というキャラクターにどっぷりはまり、その延長線上で「ドイツに行きたい」 と思うようになりました。

ドイツ語を学ぶ、と言ってもまずはアルファベットを覚えるといった初歩的などころからにはなりますが、ちょっとずつ、ちょっとずつ身に付けていき、最終的には全身で“推し”を感じにドイツへ行きたいと思います。

待ってろよ——!!!!!(伊藤芽生)



高校は色んな中学校から集まり、同じ学年に 200 人もいるので中学の時より沢山友達を作りたいです！！

そして宮高祭や体育祭を一生懸命楽しんで最高の思い出にしたいです！他にも写真や動画を撮ったりして思い出に残したいです！！目指せ友達 100 人！！そして最高の JK ライフを過ごすぞ！！！！ (若松芽衣)

ぼくが今年がんばりたいことは、運動です。

ぼくは、今まで必要な時しか運動をしていませんでした。なので、今年は運動をがんばりたいです。

運動をすると体力がつきます。

今まで体力がなくて、走っていてもすぐにつかれて、よく歩いてしまっていたので、これから運動をして体力をつけていきたいです。

(井東翼)



今年の抱負は、介護の勉強を頑張ることです。私は4月から介護の専門学校に行きます。そこでは主に介護福祉士の資格を取るための勉強をするのですが、母が福祉関係の仕事をしているのを見て介護の世界に入りたと思いました。お年寄りの方がお誕生日を迎えた時に、母と一緒にメッセージパネルを作ってお祝いしました。介護の仕事は大変だと思いますが、お年寄りの方が笑顔になってくれる瞬間は嬉しいです。だからしっかり介護の基礎を身につけたいです。(ちかちゃん)

僕には、高校に入ってやりたい事が、二つあります。

一つ目は、人間関係を広げることです。高校には、他の中学校から来る人が大勢いるので交流を広げて、一緒に色々なことができる友達をつくりたいと思います。

もう一つは、趣味に時間をかけることです。やりたいのは、フリスビーと音楽です。フリスビーはYouTubeを見てやってみたいと思ったからです。楽器は小学校のときにドラムをやっていたので高校に入ってやりたいです。

(児玉夢空)





僕は高校に入って柔道とバイトと彼女をつくることをがんばりたいと思っています。バイトは高校生になったらできることで、小学生のころからあこがれていました。

そして、僕は見て分かるとおりにモテます。とてもモテます。なので高校に入ったら、すぐ彼女をつくりたいと思います。そして、その大切な彼女を守るために柔道がんばりたいと思います。
(神垣慶司郎)



高校に行って頑張りたいことは部活動です。私は柔道部に入ろうと思っています。そこでの私の目標はできるだけ試合に勝つことです。そのために、体力作りから頑張ろうと思っています。そうすればケガをすることもありません。他にも苦手な寝技の練習を頑張りたいと思っています。
(吉住幸太郎)



今年、3年制の看護学校を卒業しました。入学してすぐは、授業はリモート、実習は学内で行われて知識や技術がなかなか頭に入らず、「これ卒業までに必要な事身につくのかな？」と不安になりました。対面授業や臨地実習が復活してからは、技術練習が十分できることや実際の現場をみて学びを深めることができ喜んで一方、覚えることが多く、実習の記録も毎回大量で「もう無理だー」って何度も思いました。そして、気が付けば就職・論文作成・国家試験と、最後まで忙しくて大変でしたが無事卒業できました。

ただ、これで終わりではなく、むしろこれからがスタートなので、「就職して一年で辞めました」みたいなことにならないよう無理すぎない範囲で責任をもって頑張ります。それから、今まで自分で稼いだお金で生活したことが無いので、計画的な買い物や節約などの金銭管理ができるよう努力したいです。(時間に余裕があれば車の練習もしていきたいです)
(PN マーサ)



中学生でがんばりたいことは、ありません(小6)

私は、海上自衛隊に就職します。まず呉教育隊に入隊します。そこで、どんな時でもたくさんの人を助けられるような立派な自衛官になる為に日頃からの訓練に一生懸命に励み、身体も心も強くなれるように同僚たちと切磋琢磨していこうと思っています。
(一宮緋萌香)

私は高校生になったら、ちゃんとした英語の勉強を始めたいと思っています。

理由は、英語圏活動者の配信を、リアルタイムで見られるようにしたいからー！！

高校では更にレベルの高い英語が学べるので、それにプラスして自分でも普段の生活の中で出来る勉強をコツコツ頑張ります。そしてある程度英語で話せるくらいになって、会話も聞き取れるようになるのが目標です！

目指せ、日本語字幕なしで推しの配信リアタイ！！

(PN かつば)



ギターのエフェクター製作に取り組んでみたいと考えています。1年前、エレキギターを購入した時、アンプにつなぐエフェクターというものがあると知りました。そこで興味を持ち、1度挑戦してみたのですが、設計の方法が分からず断念しました。

4月から、電子情報工学科に通うことになったので、エフェクター製作のための知識・情報を習得するためにも、大学の勉強に取り組んでいきたいです。(PN hPa)

学生を終える今、これから2つのことを頑張りたいと考えています。

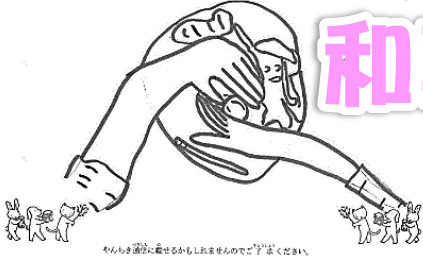
1つ目は、やはり仕事。念願の高校教員になり、燃えに燃えています。目指すは大きく授業の匠、勉強の楽しさや教科書の外まで広がっていく世界を伝えられるような授業をしたいです！そして夢が持てる、その夢に向かって頑張りたいようになるように、生徒たちの心もサポートしていきます。

2つ目は、自分磨きです。実は、今密かに小学校以来の友人と「あかり大改造計画」が進行中。手始めに渋谷の109に行って服など仕入れてきました。ファッションの世界も広がっているのだなあ実感。社会人として、「かっこいい大人」も目指していきたいです！

(芥川愛花里)



和菓子にチャレンジ!
なまえ(あかし) 年齢(7才・8才)
今日は、どうでしたか? 今日の感想・食卓を介して書いてね、 誰にも書いていいよ。



和菓子にチャレンジ!!

「講師お願いします」の連絡から緊張し始めた。すぐに頭の中の記憶の引出しをバーンッと開けて去年はどうじゃったか思い出す。前日に手の爪を切り、当日グレイテスト・ショーマンの曲を聴きながらテンションあげて会場へ、講師やるよ👏

作り方を説明する時、練切をザルに押し付けてるとウニュ〜ッと網目からインソギンチャクみたいに出てくるところで、「おおー」や「ほっほー」のワクワク声が。みんな早くやりたそうな顔、顔、顔。



調理タイムの時、女の子が「青くださーい」と桜色にした練切をこねながら来た。「かわいいピンクにしてるじゃん」というと「ううん、薄むらさきにしたいの」と、青をつけてこねくりまわすと薄紫になってニコリうれしそう。セキセイインコ作って羽のフワフワを出したいお母さん、練切ザル作戦でフワッフワ感が出て「いいですねえ〜」とハイタッチしたい気分だった。

その後はみんなの作品を見てまわる〜。子ども大人

人がごっちゃになって「すごー」「上手ねえ」の声。みんなニコニコ、照れぎみの得意顔。その光景を眺める私もあったかい気持ちになった。ここまで読んでほんわかしたあなた、来年一緒にやりたくなっただしょ〜(*^^*)
(キャサリンこと上田)



■発行日:2024年3月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵
■発行元:特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F
■連絡:0823-24-5646 ■WEB:http://kure-yyy.org